

令和6年度 企業局水道事業震災対策総合訓練の実施

1 目的

給水区域内で大規模な地震が発生したことを想定して、本局（幕張庁舎）に震災対策本部を、震度6強を観測した船橋市・習志野市・鎌ヶ谷市の船橋水道事務所・船橋北支所に現地対策本部（支部）を設置するとともに、全所属を対象とした初期活動訓練を実施しました。

さらに、船橋市・習志野市・鎌ヶ谷市及び関係機関と連携した応急給水活動や応急復旧計画等の総合訓練を合同で実施し、震災対応に係る連携強化、職員の地震災害対応能力向上を図ることとして実施しました。

2 実施日時 令和6年10月29日（火曜日）午前8時30分から正午まで

3 想定地震（千葉県北西部直下地震）

- (1) 発災時刻 8時30分 震源地 千葉県北西部 M7.3
- (2) 規模 震度6強（船橋市・習志野市・鎌ヶ谷市）
震度6弱（千葉市・市川市・松戸市・成田市・印西市・白井市・市原市・浦安市・佐倉市・四街道市・八千代市・富里市・柏市）

4 訓練参加機関

初期活動訓練

○全所属

総合震災訓練

○本局（震災対策本部）

○船橋水道事務所、船橋北支所、市原支所、千葉ニュータウン支所

○千葉県水道管工事協同組合

○(株)船橋水道センター

○船橋市、習志野市、鎌ヶ谷市

○県外応援事業体（東京都、横浜市、川崎市、神奈川県、神戸市）

○(一社)千葉県建設業協会

○千葉県石油商業組合・千葉県石油協同組合

5 訓練内容

(1) 初期活動訓練

全所属を対象とした初期活動訓練として、全職員に自動配信された参集メールへの Web 応答訓練を実施しました。

また、発災直後の庁舎・施設等の被害や職員参集状況等の調査報告を関係出先機関から、防災行政無線、衛星回線にて FAX 送信し、本部事務局職員が調査報告の集計作業を行うなど、本部事務局運営の訓練を行いました。



(2) 総合震災訓練

1) 震災対策本部会議

震災対策本部会議を、発災後 1 時間後、発災 2 日目、発災 3 日目の想定で 3 回開催しました。

1 回目の本部会議では、各班担当業務内容の確認と状況報告を行い、2 回目の本部会議は、各班担当業務の進捗と、応急給水・応急復旧方針の検討、船橋水道事務所、船橋北支所への応援体制構築等を行いました。3 回目の本部会議は、船橋水道事務所及び船橋北支所への応援体制構築後の応急給水・応急復旧方針の再検討を行いました。



2) 震災対策現地本部会議

船橋水道事務所及び船橋北支所では、現地対策本部・支部会議を開催して、応急給水・応急復旧計画書を作成するとともに、各事務所・支所に参集した管工事組合の連絡調整員と連絡調整会議を開催、各計画書に基づいた管工事組合の応急給水・応急復旧班の編成を行いました。

また、船橋市・習志野市・鎌ヶ谷市からの要請による応急給水場所を想定し、船橋水道センターにおいては、船橋水道事務所に「お客様相談窓口設置」の報告を行いました。

なお、千葉・市川水道事務所では、被害が甚大とした船橋水道事務所及び船橋北支所への応援体制構築のため、職員及び管工事組合の応急給水・応急復旧班の再編成を実施しました。

